

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	生活路線バス補助事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	総合政策部 総合政策課			担当者	田代 優美		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	01	安全で快適な交通環境の充実				
	基本事業	01	公共交通機関の確保				
事業の目的	市民の移動手段の確保のため、市内の公共交通機関を維持する。						
事業の概要	収益が赤字・平均乗車密度が0.5人以上等の要件に該当する路線バスの運行経費を助成するため、生活路線バス維持対策事業補助金を交付する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	5年度	6年度	7年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	13,723	13,652	17,000			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	5年度 実績	6年度 実績	7年度 計画	8年度 計画
	成果	関東自動車(株)が運営する路線の1日当たりの運行本数	本	9	9	9	9
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	補助金の交付により、市内の2路線、1日あたり9本の便が維持できている。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	乗合タクシー事業			事業開始年度	令和元年度		
担当課	市民生活部 生活環境課			担当者	鈴木 剛		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	01	安全で快適な交通環境の充実				
	基本事業	01	公共交通機関の確保				
事業の目的	高齢等の理由により、車の運転ができない市民の通院、買い物等の利便性の向上を図る。						
事業の概要	旧氏家町内又は旧喜連川町内、あるいは旧喜連川町内から黒須病院間において、事前予約を受け、希望する乗車場所から降車場所まで輸送。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	5年度	6年度	7年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	24,902	25,796	34,600			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	5年度実績	6年度実績	7年度計画	8年度計画
	成果	市内移動の交通手段がなく、日常生活に困っている市民の割合	%	12.2	11.4	10	10
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	うのはな号・つういんコンタ号は横ばいだが、コンタ号は利用者が増加した。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	道路台帳整備事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	建設部 建設課			担当者	金田 昂平		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	01	安全で快適な交通環境の充実				
	基本事業	02	安全で快適な道路の整備				
事業の目的	道路管理計画の基礎資料（地方交付税・地方譲与税の算定、道路統計調査等）として活用する。						
事業の概要	新規認定路線等について、図面・調書の修正を行うとともに、道路改良工事等により区域の変更等があった箇所については図面及び調書の修正を行う。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	5年度	6年度	7年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	21,879	14,688	18,900			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	5年度実績	6年度実績	7年度計画	8年度計画
		道路台帳図面及び調書利用者数	人	712	476	300	300
		地方交付税算定及び道路統計調査等への活用件数	件	2	2	2	2
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	道路台帳閲覧方法を電子化することにより、市民や業者の閲覧がスムーズに行われるようになった。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	道路用地事務処理事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	建設部 建設課			担当者	磯藤 靖明		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	01	安全で快適な交通環境の充実				
	基本事業	02	安全で快適な道路の整備				
事業の目的	道路内に存在する私有地について、寄附を受けることで未登記道路の解消に努め、公共用地の適正な管理を推進する。						
事業の概要	道路内に存在する私有地を確認後、地権者から寄附を受託し、法務局に所有権移転登記を申請する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	5年度	6年度	7年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	1,230	3,672	4,242			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	5年度 実績	6年度 実績	7年度 計画	8年度 計画
	成果	所有権移転の数	筆数	47	28	20	20
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	対象地リストを見直し、係全体が協力することで達成することができた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小	業務量	○拡大 ●現状 ○縮小			

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	道路改良事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	建設部 建設課			担当者	笹沼 雅		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	01	安全で快適な交通環境の充実				
	基本事業	02	安全で快適な道路の整備				
事業の目的	市道等の改良（線形改良、拡幅、排水施設改良等）により、交通の安全確保や産業・生活等の利便性を向上するために必要な道路環境を提供する。						
事業の概要	改良計画に基づき、測量・設計・物件調査・用地買収・物件補償・工事実施の手順により事業を実施する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	5年度	6年度	7年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	236,169	335,488	462,134			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	5年度 実績	6年度 実績	7年度 計画	8年度 計画
	成果	本年度に改良された道路延長	m	1,020	618	700	700
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	用地交渉や工事発注を計画的に実施したことにより、目標を概ね達成している。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	市道K1010号線他2路線道路改良事業			事業開始年度	平成 8年度		
担当課	建設部 建設課			担当者	笹沼 雅		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	01	安全で快適な交通環境の充実				
	基本事業	02	安全で快適な道路の整備				
事業の目的	現道拡幅改良し、葛城大橋を架け替えることにより、産業・生活等の利便性の向上を図るとともに、中心市街地へのアクセス強化に資する道路を提供する。						
事業の概要	改良計画に基づき、測量・設計・物件調査・用地買収・物件補償・工事実施の手順により事業を実施する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	5年度	6年度	7年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	9,801	0	0			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	5年度実績	6年度実績	7年度計画	8年度計画
	成果	整備率	%	69	69	80	80
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ○多少は達成した ●達成できず					
	説明	用地交渉が難航しており、目標を達成できていない。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	金枝橋・金竜橋線道路改良事業			事業開始年度	平成19年度		
担当課	建設部 建設課			担当者	笹沼 雅		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	01	安全で快適な交通環境の充実				
	基本事業	02	安全で快適な道路の整備				
事業の目的	喜連川市街地周辺の地域住民や道路利用者に利便性・快適性・安全性の高い道路を提供することにより、歩行者等の安全と市街地の渋滞緩和を図る。						
事業の概要	改良計画に基づき、測量・設計・物件調査・用地買収・物件補償・工事実施の手順により事業を実施する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	5年度	6年度	7年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	0	0	0			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	5年度 実績	6年度 実績	7年度 計画	8年度 計画
	成果	供用開始率	%	0	0	0	30
	成果	用地取得率	%	0	0	30	100
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ○多少は達成した ●達成できず					
	説明	用地交渉が難航しており、目標を達成できていない。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	市道U1-10号道路改良事業			事業開始年度	平成25年度		
担当課	建設部 建設課			担当者	笹沼 雅		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	01	安全で快適な交通環境の充実				
	基本事業	02	安全で快適な道路の整備				
事業の目的	生活拠点や産業拠点を結ぶ重要な路線として、地域住民の安全性を確保するとともに、円滑に移動できる交通環境を提供する。						
事業の概要	改良計画に基づき、測量・設計・物件調査・用地買収・物件補償・工事実施の手順により事業を実施する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	5年度	6年度	7年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	38,908	22,271	133,647			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	5年度 実績	6年度 実績	7年度 計画	8年度 計画
	成果	整備率	%	0	0	20	37
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	令和6年度より用地交渉を行い、令和7年度より工事着手予定である。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	市道U1540号道路改良事業			事業開始年度	令和 3年度		
担当課	建設部 建設課			担当者	笹沼 雅		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	01	安全で快適な交通環境の充実				
	基本事業	02	安全で快適な道路の整備				
事業の目的	生活拠点や産業拠点を結ぶ重要な路線として、地域住民の安全性を確保するとともに、円滑に移動できる交通環境を提供する。						
事業の概要	改良計画に基づき、測量・設計・物件調査・用地買収・物件補償・工事実施の手順により事業を実施する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	5年度	6年度	7年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	18,503	26,895	0			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	5年度 実績	6年度 実績	7年度 計画	8年度 計画
	成果	整備率	%	0	0	0	0
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	令和3年度に業務委託を実施し、昨年度一部土地を取得済み。その他の用地交渉を令和8年度より実施し、令和14年度から工事着手予定である。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	市道整備補助事業			事業開始年度	令和 4年度		
担当課	建設部 建設課			担当者	金田 昂平		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	01	安全で快適な交通環境の充実				
	基本事業	02	安全で快適な道路の整備				
事業の目的	開発行為に伴い必要となる道路の整備に要する費用の一部を補助することにより、生活道路の改善を図るため						
事業の概要	開発区域外の道路整備に対する補助						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	5年度		6年度		7年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	2,000		1,391		2,000	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	5年度 実績	6年度 実績	7年度 計画	8年度 計画
	成果	整備件数	件	1	2	2	2
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	開発行為隣接地で、補助金を2件交付した。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小			業務量	○拡大 ●現状 ○縮小	

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	道路維持補修事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	建設部 建設課			担当者	金田 昂平		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	01	安全で快適な交通環境の充実				
	基本事業	03	道路・橋梁の長寿命化と維持管理				
事業の目的	市道通行の安全を保つ。						
事業の概要	道路損傷箇所等について、補修の必要性・優先順位等を検討し、計画的に修繕工事を実施している。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	5年度	6年度	7年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	254,119	234,548	352,412			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	5年度実績	6年度実績	7年度計画	8年度計画
	成果	道路維持補修必要箇所への補修対応率	%	81.8	80.9	100	100
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	道路補修等必要件数21件に対し、17件の補修等工事を実施した。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	道路維持管理事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	建設部 建設課			担当者	金田 昂平		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	01	安全で快適な交通環境の充実				
	基本事業	03	道路・橋梁の長寿命化と維持管理				
事業の目的	市道の日常的な維持管理を迅速に行う。						
事業の概要	市道の管理、補修を行うことにより、道路等の適切な維持を図る。 道路及び水路等の緊急的な維持復旧を行なうことにより市民生活等の利便性及び安全性の向						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	5年度	6年度	7年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	127,886	119,020	146,002			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	5年度実績	6年度実績	7年度計画	8年度計画
	成果	道路維持管理業務委託で修繕した箇所数（氏家地区・喜連川地区）	箇所	82	84	90	90
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	市民から寄せられる補修・修繕の要望については、適宜対応している。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	橋梁維持事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	建設部 建設課			担当者	金田 昂平		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	01	安全で快適な交通環境の充実				
	基本事業	03	道路・橋梁の長寿命化と維持管理				
事業の目的	橋梁交通の安全を図る。						
事業の概要	橋梁の定期点検を実施し維持管理を行う。 橋梁の長寿命化修繕計画に基づき、劣化改修工事を実施する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	5年度	6年度	7年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	18,843	13,266	68,656			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	5年度 実績	6年度 実績	7年度 計画	8年度 計画
	成果	点検が完了した橋梁数	橋	51	56	59	58
	成果	点検した結果、安全が確認された橋梁数	橋	51	56	59	58
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	橋梁点検については計画どおり実施している。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	道路照明灯LED化改修事業			事業開始年度	令和 4年度		
担当課	建設部 建設課			担当者	金田 昂平		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	01	安全で快適な交通環境の充実				
	基本事業	03	道路・橋梁の長寿命化と維持管理				
事業の目的	既存の道路照明をLED化することにより、省エネルギーと地球温暖化抑制に貢献する。						
事業の概要	既存の道路照明(126基)の規格について、水銀灯・ナトリウム灯→LEDに変更する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	5年度	6年度	7年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	0	0	0			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	5年度 実績	6年度 実績	7年度 計画	8年度 計画
	成果	LED化改修率	%	100	78.5	78.5	100
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	建設課が管理する道路照明134基については、令和4年度に全てLED化が完了したが、上阿久津台地区区画整理事業地内の道路照明36基と旧那須烏山矢板線の道路照明2基が建設課に帰属されたことから、引き続きLED化に取組むものである。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ○現状 ●縮小		業務量	○拡大 ○現状 ●縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	道普請事業			事業開始年度	平成21年度		
担当課	建設部 建設課			担当者	金田 昂平		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	01	安全で快適な交通環境の充実				
	基本事業	03	道路・橋梁の長寿命化と維持管理				
事業の目的	予算化が難しい市道以外の道路整備（認定外道路や私道）の促進						
事業の概要	道普請：整備に必要な原材料を市が支給し、地域住民の労力奉仕で整備工事を行う。 生活道路舗装整備補助金：行政区が行う生活道路の舗装工事の一部または全部を補助する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	5年度	6年度	7年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	309	9,021	12,800			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	5年度 実績	6年度 実績	7年度 計画	8年度 計画
	成果	整備件数（道普請）	件	1	2	2	2
	成果	整備件数（生活道路舗装整備補助金）	件		9	12	18
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	道普請においては予算計上2件に対し2件の申請があった。 生活道路舗装整備補助金においては予算計上9件に対し9件の申請があった。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小	業務量	○拡大 ●現状 ○縮小			

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	公共交通計画再構築事業			事業開始年度	平成21年度		
担当課	総合政策部 総合政策課			担当者	田代 優美		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	01	安全で快適な交通環境の充実				
	基本事業	99	総合事業				
事業の目的	現行の公共交通の運行状況の分析結果に基づき、利用しやすく、かつ、継続性の高い新たな公共交通を整備・維持する。						
事業の概要	さくら市地域公共交通会議で協議しつつ、さくら市地域公共交通計画（R6年3月策定）に掲げる目標の達成を図るための事業を実施する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	5年度	6年度	7年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	4,289	19,273	408			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	5年度実績	6年度実績	7年度計画	8年度計画
	成果	市内のバスに満足している市民の割合	%	38.3	31.4	40	40
	成果	市内のデマンド交通に満足している市民の割合	%	62.2	53.6	65	75
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ○多少は達成した ●達成できず					
	説明	コロナ禍による利用者数の減少の影響は、改善しているが回復しきってはいない。 R7.2月に導入したAIオンデマンド交通システムによりデマンド交通の利用を促進し、利用者の増加及び満足度向上を目指す。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		